

全医労西別府支部

## 新入職員歓迎会&職員交流会！！

全医労西別府支部では、例年恒例の新入職員歓迎会&職員交流会を4月15日（水）に別府湾ロイヤルホテルにて開催しました。参加は子どもを含めて108名。始まりまでに少しのトラブル（送迎バスの到着遅れなど）がありましたが、岩坂支部長の乾杯の発声で賑やかに始まりました。新入職員21名の紹介、大ビンゴ大会と盛り上がり、多くの子ども達も参加してくれて本当にアットホームな会になったと思います。西別府支部では、職員の平均年齢が本当に若返り、子育て中の看護師が沢山います。育児短時間勤務・夜勤免除などの制度もしっかりとれる働き続けられる病院として頑張っています。院内保育園には約40名の園児の賑やかな声が聞こえています。そんな中で子どもとの交流は親にとっても欠かせないものです。子育て中の看護師がゆっくり話して子どもも楽しめる若者から大先輩まで、打ち解けて交流が出来る年に1回の大イベント今年も大盛会でした。

【報告：大分県医労連委員長より】

### 新職員歓迎会&職員交流会



検索！

<http://oita-irouren.net/>

## 「夜勤改善・大幅増員をめざすシンポジウム」に参加して

2月5日6日「夜勤改善・大幅増員をめざすシンポジウム」と国会議員要請行動に参加しました。オーストラリアの視察報告や労働科学研究所の佐々木司さんら3人のシンポジストの講演があり、夜勤そのものがハザード（有害性）で、やった事の無い人に1回やってもらえばいいと言われてました。1回やったぐらいじゃ、あのつらさはわからないでしょうけど！皆が安心して働き続けられる職場を実現するために「時間・賃金・増員」を合わせて運動を続けて行く事が大切。我慢は美德ではない！看護師は何でも請け負ってしまう。業務を整理しやることやらないことを決める。等々、今後仕事する中で考えさせられました。2日目は議員要請行動で大分県からの議員7名に要請に行きました。1人目の衛藤征士郎さんは直接要請出来ました！看護や介護の事には感心持っている。他の議員と話して考えると前向きな話しを頂きました。（緊張して写真撮るの忘れてました…残念(-\_-)）

継続は力なり！1人じゃ何も出来ないけど皆で一緒に頑張りましょう！

【報告：佐藤病院労働組合より】

## 労働組合とはなんぞや？ 35

渡辺和子（ノートルダム清心学園理事長）さんが「働くことは素晴らしい。しかし、仕事の奴隷になつてはいけない。」と置かれた場所で咲きなさい」という本の中で言われています。

組合とはほど遠い環境の中でシスターとして生きてこられた方の言葉ではありますが、私たちの組合運動にも通じる言葉だと思えます。

一生懸命する事は、とても大切なことです。組合を引っ張る役員は、得てしまじめすぎる人が多く、「組合とはこうあるべき」「組合がなくてはいけない」と自分で自分を追い込む人もいます。しかし、組合だからとか役員だからというのは、他人に対しての押しつけではないこともあるのです。

一労働者として、今何が必要で、何をしたいといけないのかを絶えず感じる感覚こそが、必要なのです。積極的に動くことが出来ていなくても「これはおかしい」とか「これは違う」という感覚を持つ。忙しさに流されることなく、職場の些細な一言を聞き漏らさない姿勢を持つ。すぐに実行に移せなくても話し合う種を育てていくことが、大切なのです。

「仕事の奴隷になつてはいけない」という意味をしっかり感じ取ってください。

次回に続く・・・ by 大分県医労連委員長